

## ◇2003年核データ研究会の案内◇

主催：日本原子力学会シグマ特別専門委員会、日本原子力研究所シグマ研究委員会

日時：2003年11月27日（木）、28日（金）

場所：日本原子力研究所 東海研究所 先端基礎研究交流棟会議室（茨城県東海村）

### ○予定講演と講師○

#### 1. ADS開発と核種変換のための核データ

マイナーアクチニドデータの現状 中川 庸雄（原研）

核分裂収率データの現状 片倉 純一（原研）

ADSの中性子工学的特性に対するJENDL-3.3の効果 辻本 和文（原研）

スポレーション・プロダクト・データの現状 V. Artissouk（東工大）

粒子・重イオン輸送コードシステム：PHITS 仁井田 浩二（RIST）

#### 2. 次世代炉等への核データニーズと次期JENDL構想

JENDL-3.2及び3.3を用いたFCA低減速スペクトル炉模擬実験の解析

安藤 真樹（原研）

MA核データの精度目標と「常陽」照射後試験による検証状況 大木 繁夫（JNC）

原子力安全と核データ—JENDL-3.3を用いたPWR放射性物質インベントリ—

吉田 至孝（INSS）

次期JENDLに関する検討

柴田 恵一（原研）

#### 3. 核物理研究及び核データ測定の最前線

多次元ランジュバン方程式による重アクチニド領域での核分裂モードと質量分布

市川 隆敏（原研）

100 MeVまでの連続エネルギー中性子を用いた中性子生成二重微分断面積の測定

国枝 賢（九大）

#### 4. 物理研究の最先端と核データ

中性子で拓く宇宙核物理

永井 泰樹（阪大）

宇宙核物理と光核反応データ

宇都宮 弘章（甲南大）

5. アジア地域の核データニーズ及び活動

Th, U, Cm同位体の250 MeVまでの中性子及び陽子入射核データの評価

Y.-O.Lee (KAERI)

ポーハン中性子施設における全断面積測定の現状 G. Kim (Kyungpook National Univ.)

6. わが国の核データ研究の今後 —シグマ40周年記念にあたって—

核データ評価40年

村田 徹 (アイテル)

JENDLの炉定数とその利用

瑞慶覧 篤 (日立)

今後のシグマ委員会のあり方

吉田 正 (武蔵工大)

7. ポスター発表 (26件)

講演題目は全て予定です。講師の方の敬称は省略させていただきました。また、研究会に先立ちまして11月26日(水)に、「核データ評価の概要」(講師:柴田 恵一(原研))及び「炉定数の作成方法」(講師:小迫 和明(住友原子力))から構成された核データチュートリアルを開催いたします。参加無料。但し参加希望の方は11月14日(金)までに事前登録して下さい。

問合せ・申込先: 〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方白根 2-4

日本原子力研究所 核データセンター

Tel: 029-282-5907, FAX: 029-282-5766

e-mail: fukahori@ndc.tokai.jaeri.go.jp

WWW: [http://wwwndc.tokai.jaeri.go.jp/nds/index\\_J.html](http://wwwndc.tokai.jaeri.go.jp/nds/index_J.html)